

社団法人 日本ボディビル連盟
平成20年度 第1回総会議事録(抜粋)

日 時 平成20年6月15日(日) 午後3時開会

場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室(2階)
〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1 Tel.03-5963-0200

会長挨拶 平成20年度第1回総会を開催するにあたり遠方より皆様方のご出席を頂き心からお礼申し上げます。すでに平成20年度の事業が始まっています。東アジアボディビル選手権大会が5月27日から30日、モンゴルのウランバートルで開催されました。私と、吉田副会長、朝生選手強化委員長が参りまして、男子4名(小久保選手 60 kg、佐藤選手 65 kg、松尾選手 80 kg、鈴木選手 85 kg)を派遣し4名が金メダルを獲りました。

また女子もボディフィットネスの望月選手が金メダル、足立、山下選手は銅メダルと派遣選手全員がメダル獲得という快挙を達成致しました。この勢いでアジア選手権、世界選手権も金メダルを続々と獲れば幸いと思っています。

最近スポーツをめぐるいろいろなトラブルが多くなってきています。それらを実際の裁判でやっていると時間がかかって仕方がない。国際的にスポーツに関する仲裁を行うスポーツ仲裁機構というのがスイスのローザンヌにある。以前日本でも水泳連盟の千葉選手が出場問題をめぐって水泳連盟の古橋会長を訴えて裁判になったことがありますけど、結果は水泳連盟の勝訴、千葉選手の敗訴、となった訳です。スイスに行ったり来たりで莫大な経費がかかる。千葉選手も1,000万円位お金がかかったと言われています。

そういうことがないようにと日本で5年ほど前から日本スポーツ仲裁機構というのが発足しています。その調停人に各競技団体に関係している顧問弁護士を推薦してほしいとの声がありまして、JBFFの藤岡理事を推薦したところ是非調停人になってほしいとの要請を受け、正式に日本スポーツ仲裁機構の調停人になったことをご報告致します。

日本連盟もオリンピック委員会加盟の他の団体と肩を並べて活動するところまでようやくきています。また、健康づくりの運動は、国を挙げてメタボリックシンドロームの撲滅ということで、厚生労働省は力を入れています。日本連盟も厚生労働省主導の健康日本21推進全国連絡協議会にも昨年正式に加盟しまして活動を開始しています。茨城県連盟に於いても、健康日本21推進全国連絡協議会の後援を受けて、セミナーを開催したと聞いています。これは、後ほど茨城県の方からご報告があると思います。競技スポーツ、健康づくりと着実に日本連盟は前進していますので、今年も皆様方のご協力を御願ひして私の挨拶と致します。

議長選出 定款22条により、議長は玉利齊会長を選出。

議事録署名人の選任 議長より議事録署名人2名の選出を諮り、斉藤光典正会員と松本宏夫正会員を選任。

定足数の確認 正会員総数60名。本日出席正会員29名、委任状による出席正会員30名、合計出席正会員59名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

【第一号議案】平成19年度事業報告及び収支決算案について
全会一致で承認。(別紙参照)

【第二号議案】 規程の改定について

全会一致で承認。(別紙参照)

【第三号議案】平成20年度日本連盟専門委員会案について

全会一致で承認。(別紙参照)

【第四号議案】平成20年度日本連盟主催大会審査員指名案について

田崎二郎氏の審査資格が国際となることを含め、全会一致で承認。(別紙参照)

【第五号議案】平成20年度国際大会派遣役員案について

未定の役員・選手は執行部に一任することを含め全会一致で承認。(別紙参照)

【第六号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ

Body Training FREEDOM(準加盟)	所属:和歌山県連盟(クラブ)
GOLD'S GYM(さいたまスーパーアリーナ(正加盟)	所属:埼玉県連盟(クラブ)
県北トレーニング室(正加盟)	所属:長崎県連盟(クラブ)
六国建設(株)ボディビルクラブ(正加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
リコーボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
相羽ばね工業ボディビルクラブ(正加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
名古屋市環境局ボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
トーエ治療院ボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
有限会社アドバンスボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
達磨ボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
加藤鍼灸治療院ボディビルクラブ(準加盟)	所属:日本社会人連盟(クラブ)
<u>平成20年度第1回理事会・第1回総会審議保留</u>	

2. 退会クラブ

長野県連盟	辰野トレーニングセンター	山崎福次郎代表	閉鎖
愛媛県連盟	ペガサスボディビル同好会	徳永勝秀代表	閉鎖
宮城県連盟	THE ZEN CLUB	千坂成也代表	閉鎖
岡山県連盟	フィットネスクラブ ラ・ピスタ	出口進治代表	退会
東京連盟	ENDO'S GYM錦糸町	遠藤光男代表	退会
富山県連盟	砺波ボディビル同好会	林忠利代表	退会
富山県連盟	アピアスポーツクラブ	窪田一男代表	退会
富山県連盟	村上トレーニングセンター	村上 満代表	閉鎖
日本社会人連盟	航空自衛隊秋田救難隊ボディビルクラブ	山崎 優代表	閉鎖
日本社会人連盟	四ツ倉高校ボディビルクラブ	安島浩代表	閉鎖
日本社会人連盟	太陽アーモボディビルクラブ	久保田宏之代表	閉鎖
日本社会人連盟	井上包装ボディビルクラブ	井上義光代表	滞納

以上、加藤鍼灸治療院の加盟は保留となり、他の新規加盟、及び退会クラブは、全会一致で承認された。

【第七号議案】 正会員変更申請について

正会員変更の申請

1. 新潟県連盟正会員 (旧)桐生辰夫正会員 (新)池乗直樹正会員

2. 富山県連盟正会員 (旧)村上満正会員 (新)水尾仲秀正会員

以上、新潟県連盟より池乗直樹正会員、富山県連盟より水尾仲秀正会員に変更申請があり、理事会で承認されたことの報告があり、全会一致で承認された。

その他 運営に必要な事項の検討及び報告

1. 日本女子新人ボディビル選手権大会の名称変更について

執行部に一任された「日本女子新人ボディビル選手権大会」の名称変更については、新名称として「日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会」となったことが報告され、全会一致で承認された。

2. フィットネス・ボディフィットネス個人登録会費について

フィットネス・ボディフィットネス大会に限り個人選手登録費は、6,000 円とし、日本連盟へ直接の支払とすることが、全会一致で承認された。尚、健康美の大会では登録費が必要ない事が確認された。

3. 全日本学生ボディビル連盟OB会の設立について

他のスポーツ競技団体は学生のスポーツがトップアスリートの養成のパワーと原動力になっているが現在学連は日本ボディビル連盟には所属していない。学生連盟所属のボディビル選手は、国内大会にとどまって国際大会には一切関係をもっていないので、アジア、世界の大舞台で競技することができない。日本連盟、及び下部組織には学連OBが多いので、学連への支援、また自らも大会に出場できる組織を設立すること、またその組織の規約について青田理事より報告され、その内容は執行部に一任とし、組織化については全会一致で承認された。

4. 公式ユニフォームについて

公式ユニフォーム(男子トランクス、女子ビキニ)については、日本連盟に指定メーカーよりロイヤリティが入る。男子は主催大会での着用が義務となっており、女子についても今後義務化の方向であることが報告された。また、サイズで Sが必要と要請がありメーカーに製造依頼することが確認された。

5. 松尾隆太郎選手広告写真掲載について

昨年よりトレーニング機器の販売会社(株式会社イサミ)の広告に、松尾隆太郎選手の写真が掲載されている。松尾選手、イサミ社の広告担当部長と連絡をとった結果、両者とも選手の肖像権が JBBF へ委託をしていること、商業活動に写真など掲載する場合には JBBF の承認が必要であることの認識が無かったことを謝罪している。尚両者とも文書にて JBBF 宛に経過説明、謝罪文などが提出されることとその対応は執行部へ一任することが理事会で承認された。今後選手登録に記載されている者が退会するまでは肖像権委託とドーピングテスト対象であることが確認された。尚、今後の資格審査の対応は藤岡理事(弁護士)を筆頭に青田理事、鳥谷部広報委員長が選ばれた。

6. 海外在住日本選手の JBBF 大会出場について

海外で IFBB 加盟団体に出場した日本選手が大会に出場する場合は幾つかの前提条件をつけることにする。その事により、JBBF 主催・主管大会に出場すべき権利(過去の大会を参考にした出場資格)を持っている選手は JBBF に直接個人登録できることとする。

対象選手が IFBB 傘下にある海外団体の登録を受けてその国の在住証明を所持していること、過去に JBBF に対しての規約違反が無いこと(処分が終了している場合は除く)。

出場を予定する大会の申込後に、JBBF アンチドーピング委員会はドーピング検査の指名をすることができる、指名を受けた場合、大会前に日本国内においてドーピング検査を受けなければならない。

試合後 JADA(日本アンチドーピング機構)の指名により居場所情報対象者に選ばれた場合、国の内外を問わず居場所情報の提出を行わなければならない。

海外在籍選手とは男子・女子・ジュニア・マスターズ・フィットネスを含む全ての登録選手を対象にする。

以上の内容が理事会で承認されたことが報告された。

7. 主催大会ポスターについて

20年度の主催大会ポスター(主管連盟発行)の内容に不備があり、福岡県連盟・静岡県連盟より遺憾の意が表明された。今後約定書に日本連盟承認後印刷する旨の項目を入れることが理事会で承認されたことが報告された。

8. 主催大会の主管申請について

21年度主催大会の主管申請について、日本クラス別大会が大阪と岡山から申請があったが、開催主管については執行部一任となった。また、西日本大会は福岡県で開催することが報告され承認された。(注)総会終了後、日本クラス別大会は岡山県に決定した。

9. 茨城県「健康日本21」の活動について

厚生労働省主導の健康日本21国民運動の活動として健康づくりとウエイトトレーニングについて、イベントを主催した茨城県磯野理事長より報告があった。後援の健康日本21推進全国連絡協議会、茨城県、笠間市、茨城新聞社などで行われ、活発な意見が交換されボディビルの健康づくりへの効果が認識された。

10. 月刊ボディビル誌の内容について

月刊ボディビル誌の最近の編集内容に関し、当連盟と出版社間の信頼関係を損なう記事が多々あることが多くの役員より指摘された。

当連盟と出版社の間では相互信頼に基づく協定書が交わされているので、このような事態が継続し編集内容が改善されない場合は、協力関係を打ち切ることも止むを得ない意見が多数を占めた。

当連盟は会長名で出版社の社長に対しその旨を要望し、返答を求めることが確認された。

11. 加盟クラブの登録費について

加盟クラブが県連盟に登録会費を納め、県連盟は日本連盟に登録会費他を納める規程になっているが、加盟クラブが登録費未納の場合には、退会するまでの登録費を県連盟が日本連盟に支払うことが確認された。

12. 主催大会の審査員について

主催大会の審査員になるための質問があり、審査委員会に審査員のジャッジデータがない方は、ジャッジトレーニングを受ければよいので各大会でジャッジトレーニングを受けてほしいと回答があり、加盟連盟に連絡をすることが確認された。

以上で総会は閉会した。